

【施策評価調査】

施策名	2-4-2	「居場所づくり」あそぼうねっとプロジェクト		91	子ども達が地域で様々な交流を行うことで、地域で築き上げてきた文化・技術の伝承ができるたり、子ども達のコミュニケーション能力の向上や思いやりの心の育成を図る。
	※高根沢町地域経営計画2006 該当ページ				
担当部課	教育部 こどもみらい課	担当	児童福祉担当		地域で子どもたちが仲間や異世代との交流が図れるよう、地域において様々な活動の機会をつくり出します。そして、社会性を学び、柔軟な感性を育むことができるよう、地域全体が子どもたちの居場所となるように支援していきます。(※「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
		リーダー	横塚 恵子		
環境変化					地域で子どもたちが仲間や異世代との交流が図れるよう、地域において様々な活動の機会をつくり出します。そして、社会性を学び、柔軟な感性を育むことができるよう、地域全体が子どもたちの居場所となるように支援していきます。(※「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

■指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標①:昔の遊び体験年間開催回数(回)	平成16年度	計画	5回	12回	15回	20回	30回
	0回	実績	↓ 3回	↓ 5回	↓ 4回	↓ 8回	
指標②:3世代体験教室年間開催回数(回)	平成16年度	計画	11回	13回	16回	20回	22回
	0回	実績	↓ 9回	↓ 4回	↓ 5回	↓ 8回	
指標③:自然体験年間開催回数(回)	平成16年度	計画	9回	12回	15回	20回	20回
	0回	実績	↑ 11回	↓ 10回	↓ 7回	↓ 15回	
◆◇ 指標に関する特記事項 ◇◆							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	294,000	0	848,000	2,271,000	
	決算	321,429	0	660,449	1,603,349	

■事務事業事後評価 21年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか? (アウトカム)			
				今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
①地域福祉活性化事業 ※再掲(健康福祉課の事務事業)	当初 2,271,000	より所の設置(サロン)、福祉ネットワークの立ち上げ	A	サロンの運営方法をモデル化し、多くの地区にサロンが開設されると地域活性化に繋がっていく。			
	決算 1,603,349	3地区 / 2地区		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
②	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
③	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
④	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
⑤	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

■施策事後評価 21年度の検証

自己評価	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
	具体的な事業は、児童館事業などを中心に展開しました。施策の評価指標に含まれない事業も含め、地域に開かれた児童館として運営してきましたので、地域の居場所としての位置づけは確固たるモノになってきたと考えています。	取り組みは着実に実施されてきましたので、「居場所づくり」の取組みをより拡大、発展させた形にしていきたいと考えています。また事業展開は、指定管理者に管理運営を任せている児童館が中心となっていますので、今後、行政として何ができるのかも検討していかなければなりません。
総合評価	児童館を中心に地域の開かれた居場所として施策展開されていることを評価する。今後は、健康福祉課や社協が行っている高齢者の居場所づくりと、生涯学習課が行っている地域協働団体の育成や体験活動等と、どう繋がりを持たせていくのか、横断的な視野を持った施策展開を検討すること。	